

寄贈品コーナー

## 新着資料展—民俗—

2016年4月2日(土)～5月8日(日)



民俗部門では、平成27年度の一年間も、たくさんの資料を受け入れました。写真の長持の他、岡崎別北の関谷茂夫家からは、掘り抜き井戸の掃除に用いた、長さ40mもの割竹の先端に鉄板を付けた道具や、葬式の祭壇へ飾る果物を盛るモリカゴなど、往事の生活を物語る民具が多数寄贈されました。これら主な新着資料を寄贈品コーナーで披露します。

### ◀天和3年(1683) 銘の長持

徳延の旧家から寄贈された長持です。ふたの裏に「天和三癸亥卯月日 山本次兵衛書之 名ばかりはいつの世まで残らん 筐に見よや末の山もと」と墨書されています。何代も前の嫁入り道具と伝えられており、墨書により天和3年に山本家から嫁いだ人の物と推定されます。山本家の名が後世までも残るように箱に記したという主旨の短歌が詠まれています。江戸時代前期にあたる17世紀の年銘が墨書された民具は極めて稀です。